

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 Sacituzumab Govitecan療法						臨床区分	抗癌剤適応分類			登録日	2025年1月8日					
疾患名	乳癌						<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法			1クール期間	21日					
診療科名	乳腺・甲状腺外科						<input type="checkbox"/> 単施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術後化学療法									
登録医師名	高橋 寛敏			<input type="checkbox"/> 他施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術前化学療法												
適応	化学療法歴のあるホルモン陰性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌			<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究	<input type="checkbox"/> 局所療法												
				<input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> その他				実施回数	/回							
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント		
							day1	—	—	—	day8	—	—	—		—	—
1	アセトアミノフェン錠500mg	1	錠	経口			●	—	—	—	●	—	—	—	—	制吐剤投与と同時に内服 ※内服不可の場合は医師に確認	
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	●	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること	
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン	30min	●				●						
	ハロノセトロン静注用0.75mg	1	瓶														
	デキサート注射液 6.6mg	1	管														
	ファモチジン注20mg	1	管														
	ボララミン注5mg	1	管														
4	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン	180min										※初回180min、2回目以降60minで投与可 ※調製後25℃以下で8時間または2~8℃で24時間以内に投与を完了すること ※投与中は輸液パックの遮光が必要 ※濃度は1.1mg/mL~3.4mg/mLの範囲になるよう生食量を調整すること(レジメン備考欄参照) ※投与終了後はルートをフラッシュし、30分の経過観察を行うこと	
	トロデルビ点滴静注用	10	mg/kg														
5																	

備考欄

★タキサン系薬剤の使用歴を確認すること
濃度調整に関しては10mg/kgで投与する場合、最大体重85kgまでは生食250mLパックを使用することが可能。適宜溶解用の生食を体重、減量にあわせて100mLまたは500mLに変更する事

減量・中止基準

添付文書参照

文献

ASCENT試験